

大会名 千葉市少年サッカー大会 4年生以下の部

試合 準決勝 第1試合

日時 2015年7月12日

試合会場 千葉市青葉の森陸上競技場

気象状況 天候 晴れ ピッチ状況 天然芝

キックオフ 10時00分

対戦チーム PHFCコルデローザ — JSC CHIBA Q

試合結果

1	0	前半	2	5
	1	後半	3	

戦評

準決勝第1試合はピンクのユニホームPHFCコルデローザ（以下PHFC）対青のユニホームJSC CHIBA Q（以下JSC）の戦いとなった。時間は20分ハーフ

30°を超える猛暑の中、JSCのキックオフで試合がスタートした。

最初のチャンスはJSC、開始1分2番郡司君のパスを受けた3番越後君が反転して相手をかかわすと振り向きざまにシュート、これがゴールネットを揺らし先制すると、勢いに乗ったJSCは3分GKからのパスに反応した3番越後君がダイレクトシュート。

これもゴールに入り開始3分で、JSCが2-0とリードする。

9分にはPHFC28番田中君が中央をドリブル突破すると、19番都築君へラストパス、ダイレクトでシュートするもゴールならず。

その後一進一退の攻防が続くも、両チームDFの体を張ったプレーで中々シュートを打つことができない、18分には、JSC27番里見君からのスルーパスを22番渡辺君がシュートするもポストを直撃。前半をJSCの2点リードで折り返す。

後半最初のチャンスもJSC 後半2分3番越後君と2番郡司君がワンツーで突破し2番郡司君が落ち着いてゴール、JSCが点差を3点に広げます。対するPHFCも後半5分に、相手のクリアミスにカットした9番田中君が右サイドの7番戸枝君へパス、これを7番戸枝君が決めて1-3とします。

しかし、12分にJSC27番里見君がドリブル突破からGKとの1対1を決めると、

18分にはJSC2番郡司君最終ラインからドリブルを始めると相手選手をかまし続けそのままゴール前までいき落ち着いてゴール。このまま試合終了JSCが5-1で勝利し決勝進出を決めた。

開始3分で2得点したJSCの勢いをPHFCが止められなかったという印象だが少ないチャンスでも得点を上げたPHFCの底力を感じることもできた。JSCは自陣からもドリブルする積極性が見られ8人制導入の効果を感じることができる試合だった。

両者暑い中でも、必死にプレーする姿が印象的な良い試合であった。

記：中央区技術部 長澤 武瑠（千葉アマカルSC）

大会名 千葉市少年サッカー大会 4年生以下の部

試合 準決勝 第2試合

日時 2015年7月12日

試合会場 千葉市青葉の森陸上競技場

気象状況 天候 晴れ ピッチ状況 天然芝

キックオフ 11時00分

対戦チーム

W i n g s G - フロインツ

試合結果

2	0	前半	0	0
	2	後半	0	

戦評

準決勝第2試合は、緑色のユニホームW i n g s G (以下W i n g s)対紫色のユニホームの

フロインツの戦いとなった。気温が30°を超える中、W i n g s のキックオフで試合が始まった。

最初のチャンスはW i n g s 、0分34番実川君のシュートがポストを直撃、対するフロインツは
ショートコーナーから39番田村君がシュートを打つもキーパー正面、するとここからW i n g s が
猛攻に出る。4分、31番池端君、5分、33番伊藤君、7分、34番実川君と、立て続けにミドル
シュートを打っていくもゴールにはならず、

すると、14分フロインツ22番堀口君もミドルシュート、しかしこれはクロスバーの上に外れる。

17分には、W i n g s 52番渡邊君がセンターサークル付近からミドルシュートを打つもG K正面
W i n g s がシュート数で圧倒するも点が取れず前半を終了する。

後半もW i n g s が遠目からシュートを打つシーンが目立つ中、後半6分W i n g s 33番伊藤君の
F Kに45番古川君が飛び出してシュートこれが先制点となる。その後は中盤でボールを奪い合う
シーンが続くが後半18分前がかりになったフロインツに対して、W i n g s がカウンター36番
森岡君のパスに抜け出した45番古川君が2点目を決める。

そして試合終了、W i n g s がフロインツに2-0で勝ち決勝進出を決めた。

フロインツは前半激しいプレスでW i n g s に得点を与えなかったが、暑さのせいか後半運動量が
落ちてしまった、天候次第では結果は変わっていたかもしれない。

W i n g s は、積極的にミドルシュートを打っていた。

8人制になりコートが狭くなった影響だと考えると、ドリブルの多かった準決勝第1試合とは違った
8人制サッカーの一面を見る事ができた試合だった。

第1試合同様暑い中走り続ける選手達が印象的な良い試合だった。

記：中央区技術部 長澤 武瑠 (千葉アミカルSC)

大会名 千葉市少年サッカー大会 4年生以下の部

試合 決勝

日時 2015年7月12日

試合会場 千葉市青葉の森陸上競技場

気象状況 天候 晴れ ピッチ状況 天然芝

キックオフ 13時00分

対戦チーム J S C C H I B A Q - W i n g s G

試合結果

3	2	前半	4	11
	1	後半	7	

戦評

30°を超える猛暑の中、J S C C H I B A Q(以下J S C)対W i n g s G(以下W i n g s)の決勝戦がW i n g s ボールでキックオフ、最初のチャンスはW i n g s、開始2分32番石川君のスループアスに反応した45番古川君がG Kとの1対1を落ち着いて決め先制すると3分には32番石川君がセンターサークル付近からミドルシュート、これもゴールネットを揺らし、開始3分でW i n g s が2-0とリードする。さらに10分には45番古川君がゴール、15分にも34番実川君がゴールを決めてW i n g s が点差を4点に広げる。

このまま前半終了かと思われたアディショナルタイムに、J S C 2番郡司君がドリブル突破からゴールを決めると、さらにJ S C 11番田村君のパスを受けた2番郡司君が再びゴールし、ここで前半終了。アディショナルタイムにJ S C が2点返して2-4で前半を折り返した。

J S C に勢いがつくと思われた後半だったが、チャンスを作ったのはW i n g s、45番古川君がドリブル突破からゴール、対するJ S C も3番越後君がペナルティエリア内で倒されてP Kを獲得それを自ら決め3-5とする。

しかし後半8分W i n g s 55番湯田君のF Kが直接決まるとW i n g s の勢いは止まらなくなる。11分45番古川君、14分55番湯田君、さらに15分32番石川君、18分55番湯田君がゴールし10-3とするとアディショナルタイムにも43番山元君が得点し試合終了。

W i n g s が11-3で勝利し優勝した。

予想外のスコアとなったがこれが実力差とは考えにくい、2014年のブラジルW杯でブラジルがドイツに1-7で負けたように、リードされた状態で前がかりになるとカウンターで大量失点というのはよくあることだからだ。それが狭いコートでやる8人制なら尚更だろう。

点差が開いてもあきらめずプレーしたJ S C の選手達、

時間稼ぎ等をせずアディショナルタイムまで点を取りにいったW i n g s の選手達、

暑い中素晴らしいプレーをしてくれた選手達に、賞賛を送りたい。